

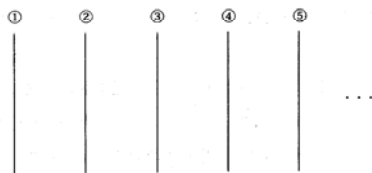


親と子の私立中学受験講座開催

難問が減り、基礎・基本問題を中心とする「基本重視型入試」の傾向が強くなっています。その中で、思考力や発見力を問うもの、条件理解を見る問題なども多く出題され、「規則性の問題」・「数列」・「場合の数」・「図形の問題」などはしっかり練習を積んでおく必要があります。また、「考え方・求め方も答えなさい」、「途中の式も書きなさい」というような、問題を解く過程を解答用紙に書かせる学校(特に女子校)があります。日頃から「計算式をしっかりと書く」、「線分図や面積図を書いて考える」など、手を動かして作業する習慣を意識することを心掛けてもらいたいと思います。今春の入試問題では、点の移動や図形の転がり移動などが多く見られましたので、チェックしておかなければいけません。(二宮)



出題例 - 慶應湘南藤沢中



出題例 - 浅野中(部分)

(1)

(2)

神奈川県公立高校の募集案内が県教育委員会より発表されました。それによりますと、前期選抜は来年一月二十八・二十九日に面接やその他の検査が行われ、合格発表は二月四日となります。後期選抜は二月二十一日に学力検査が行われ、合格発表は二月二十九日と決まりました。

前期選抜の募集定員がいくつかの学校で変更となり、鎌倉・横浜翠嵐・柏陽では昨年の二〇%から三〇%に増えました。また、後期選抜で独自入試を実施する学校は新たに多摩高校・光陵高校が加わり、全部で十校になります。学校再編も進み、外語短大附属は六ツ川高校と合わさり「横浜南方面国際情報高校(仮称)」となるなど、新しいタイプの高校が七校、定時制・通信制各一校の合計九校増えることとなります。

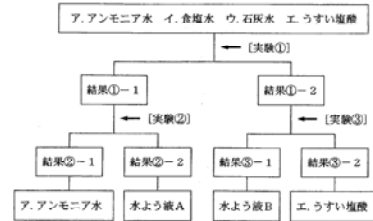
各高校が合格者を選考する際の「選考にあたって重視する内容」の詳細は、すでに県教委のホームページ上で公開されていますので、受験生は目を通しておくとういでしょう。

出題例 - 慶應湘南藤沢中

出題例 - フェリス女学院(一部)

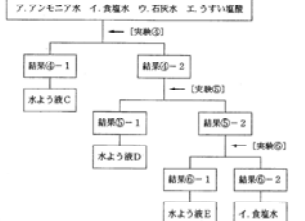


<分け方: 1>



1
3
5
7
9

<分け方: 2>



2
4
6
8



11